

電子会議、スマホもOK

ラドビジョン 28画面、最大300カ所

イスラエルの情報システム会社、ラドビジョン（テルアビブ市）は、スマートフォン（高機能携帯電話＝スマホ）やタブレット型端末を使った電子会議システムを開発し

た。最大300カ所を通じて、販売代理店やシステム会社を通じて10月中旬に、各端末の画面を分割して各地の顧客を始める。

電子会議装置、パソコンなど異なる複数の端末を接続できる。スマホやタブレット向けには専用のアプリ（応用ソフト）をダウンロード、それを使ってテレビ電話機能を利用する。利用者は画面上のタッチパネルを触れば、各拠点から送られてきたテレビ会議の画像を大きくしたり小さくしたりでき

き、スマホなどの画面上部にあるカメラを使って発言する。PDF形式の会議資料も共有して一斉表示することも可能。

電子会議は接続する拠点数が多くなるとデータ通信量が膨らみ、通信速度や表示機能に支障が出るのが課題だった。新システムは仲介サーバーがデータを圧縮して一括で送る技術を利用。サーバーが、通信する各端末・機器の画面の解像度、通信速度、画像圧縮方式を自動調整する技術を開発し、300カ所もの拠点を結び会議を実現する。

伝送容量が小さい携帯電話回線を使っている場合も通信に遅れが生じるこ

日経電子版

<http://www.nikkei.com/>

お問い合わせ (7:00~21:00)

0120-24-2146

となく、スマホなどでも鮮明な動画を表示することも可能にした。

100台程度の端末・機器をつなぐ場合で、サーバー価格は700万〜800万円。スマホなど端末向け専用アプリの利用料は100台当たり約50万円。国内では端末数で3年後に30万台の導入を目指す。米、欧、中国などでも同時発売する。ラドビジョンの年間売上高は約100億円。